

第1回 義務教育学校教育課程検討委員会

令和2年9月28日 19時

山村開発センター 研修室

1 開会

2 教育長あいさつ

3 委員長、副委員長選出

委員長：山田二郎 委員

副委員長：金本仁 委員

4 説明

- ・日野町新しく設置する義務教育学校教育課程検討委員会設置要綱について
- ・義務教育学校の教育課程編成について

5 協議

(1) 本委員会での検討事項及びスケジュールについて

① 児童生徒の実態、保護者・地域の願い、地域の環境の把握

※意見交換会の実施

② 日野町の未来像、めざす子ども像、中学校卒業時まで育てたい姿の共有

③ 日野町・日野町教委の方針、学校目標、校訓、努力点

④ 区切り、独自教科の設定

⑤ 9年間を見通したカリキュラム (特に特別活動(学年行事)、総合的な学習の時間)

⑥ PTA組織の在り方

(2) 児童生徒、地域の実態について

【黒坂小】

○児童

- ・素直
- ・敬語
- ・黒坂の子どもたちのよさが一緒になることで薄まるのでは？
- ・高校に進学したとき・・・
- ・異学年交流でプラスに
- ・メンバーが変わらない→どこで切り替えるか

○地域

- ・地域の教育力、協力、活力
- ・豊富な地域素材→計画的な地域学習
- ・地域から子どもがいなくなる

【根雨小】

○児童

- ・ 取り組めること取り組めない子
- ・ 学習の楽しさを教え合う
- ・ 積極性があまりない印象
- ・ 生き物に対する興味関心が高い
- ・ 運動能力が低かったり外遊びが少なかったりしたが、現在はそのようなことはない
- ・ 全体的に幼い
- ・ 環境の変化についていけるかどうか不安
- ・ 競争心、向上心が希薄・・・仲良しだけではいけない
- ・ 少人数教育ならではのよさ
- ・ 異学年交流
- ・ 田植えから稲刈りまでの体験は貴重
- ・ 日野高校との交流

○地域

- ・ 近所に友達が少なく帰ってから遊べない
- ・ 豊富な地域素材→計画的な地域学習
- ・ 地域から子どもがいなくなる

【日野中】

○生徒

- ・ 素直、話せば分かる
- ・ 自己評価が低い
- ・ 学級内で自分の位置が決まっている（と思っている）→立ち位置を変えたくない
→勝ちたい、一番になりたいという競争心が無い⇒外の学校の生徒と関わらせたい
- ・ 絆が強い
- ・ 保育園から集団が途中で変わらない
⇒中学校卒業後、外とつながれるようになってほしい
⇒中学生の時と違って高校でのびのびしている子は、リセットできている
- ・ 小学生、中学生とも挙手発言が少ない
⇒手を挙げて自分の考えをしっかりとと言える子に
- ・ 中学生になるときちんとあいさつできる【根雨小グループより】
- ・ 体育祭の応援がよかった【根雨小グループより】

○地域

- ・ 家庭数が少なくなり PTA 活動が大変ではないか。
- ・ PTA 活動の在り方が変わってきている。
- ・ 子どもと関わる、地域に出る PTA 活動に